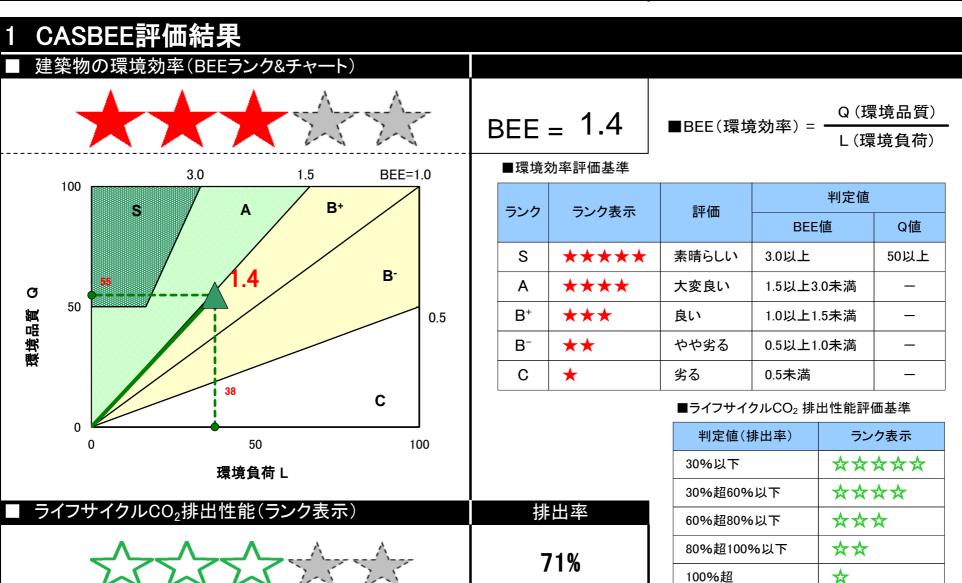
CASBEE熊本(新築) 性能表示

## (/\SBEE<sup>®</sup>熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要	<u> </u>			■ 外観
建物名称	熊本駅ビル(仮称)運営会社ビル	階数	地上4F	
建設地	熊本市西区春日町三丁目2191の一	構造	S造	
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	588 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	6,570 時間/年	
建物用途	事務所,飲食店,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年12月2日	
敷地面積	1,189 m <sup>2</sup>	作成者	渡邉 浩之	
建築面積	995 m <sup>2</sup>	確認日	2019年12月3日	
延床面積	3,549 m <sup>2</sup>	確認者	楠本 孝徳	



<ul><li>2 熊本県重点評価結果</li><li>■ 重点事項総合評価</li></ul>			評価点
The same of the sa	The state of the s		81
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】温室効果ガス排出量削減の推進	94.7	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現	67.5	100点以上	<b>66666</b>
【里点事項2】 女主女心で春りしゃりい社会の美境	07.5	80点以上100点未満	<b>6666</b>
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	60点以上80点未満	<b>666</b>
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.0	40点以上60点未満	<b></b>
		40点未満	•
		※評価点は、100点じ	L上が推奨です。

松上旧手上亚加州田

Page: 1/6 Sheet: 1/5

結果 CASBEE熊本(新築)

# 

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

有効活用と保全

		仮称)運営会社ビル	欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフ					v3.0)
人コノ	<b>プシート</b>	実施設計段階						
配慮項	頁目		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
3 建	築物の	環境品質			1/1/30		1/1.90	3.1
	<b>区内環境</b>				0.40		-	3.6
1 音	環境			2.6	0.15	-	-	2.6
		内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
	1.2 <u>遮</u> 音			2.2	0.40	-	-	
		開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
	3			1.0 3.0	0.40	3.0 3.0	_	
	4			3.0		3.0		
	1.3 吸音	•		3.0	0.20	3.0	_	
2 温	熱環境	7		3.4	0.35	-	-	3.4
	2.1 室流	<b>温制御</b>		3.8	0.50	-	-	
	1	室温		3.0	0.39	3.0	-	
	2		外壁の平均熱還流率:0.68W/m <sup>3</sup> K	5.0	0.24	3.0	-	
L	3	2 233453121	ゾーン別に冷暖房の選択が可能	4.0	0.37	-	-	
	2.2 湿原			3.0	0.20	3.0	-	
	2.3 空記			3.0	0.30	3.0	-	0.0
3 光	<b>℃·視環境</b>			3.6 3.5	0.25	•	-	3.6
	3.1 昼分			4.0	0.54	3.0		
	2			7.0	-	3.0	_	
	3			3.0	0.46	3.0	-	
	3.2 グレ	ア対策		4.0	0.27		-	
	1	昼光制御	ブラインドと庇によりグレアを抑制	4.0	1.00	3.0	-	
	3.3 照月		照度:590lx	4.0	0.14	3.0	-	
	3.4 照明			3.0	0.23	3.0	-	
	2気質環			4.4	0.25	-	-	4.4
	4.1 発生	生源対策	E	5.0	0.50	-	-	
<u> </u>	10 45 6	化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用	5.0	1.00	3.0	-	
	4.2 換象			3.6	0.30 0.35	3.0	-	
	1	· 按  2 自然換気性能		3.0 3.0	0.30	3.0	_	
	3		・ 空気取入口と各排気口を真逆の外壁面に設置	5.0	0.35	3.0	_	
	4.3 運月			4.0	0.20		-	
	1			3.0	0.50	-	-	
	2	型 喫煙の制御	前室を設けた喫煙室を設置	5.0	0.50	-	-	
2 サ	ナービス・	性能		_	0.30	-	-	3.1
	能性			3.0	0.40	-	-	3.0
		能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-	
	1			3.0	0.30	3.0	-	
		<ul><li>2 高度情報通信設備対応</li><li>3 バリアフリー計画</li></ul>		1.0 3.0	0.30 0.40	3.0	_	
		<u> </u>		3.0	0.40	-	_	
	1.2			3.0	0.35	3.0	-	
		2 リフレッシュスペース		3.0	0.30		-	
	3	3 内装計画		3.0	0.35	-	-	
	1.3 維持	+ 告 理		4.0	0.30		-	
	110 HE				ā .	-		
F	1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保	清掃員控室、清掃用具、清掃用流しの設置	3.0 5.0	0.50 0.50		- -	
2 耐	1 2 付用性・信	維持管理に配慮した設計2維持管理用機能の確保 <b>減性</b>	清掃員控室、清掃用具、清掃用流しの設置	3.0 5.0 <b>2.9</b>	0.50 0.50 0.30	-	-	2.9
2 耐	1 2 <b>対用性・信</b> 2.1 耐氮	維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 <b>調性</b> 震·免震・制震・制振	清掃員控室、清掃用具、清掃用流しの設置	3.0 5.0 2.9 3.0	0.50 0.50 0.30 0.50			2.9
2 耐	1 2 <b>村用性・信</b> 2.1 耐 <u>氮</u> 1	維持管理に配慮した設計 2 維持管理用機能の確保 <b>調性</b> 震·免震・制震・制振 耐震性(建物のこわれにくさ)	清掃員控室、清掃用具、清掃用流しの設置	3.0 5.0 2.9 3.0 3.0	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80		-	2.9
2 耐	1 2 <b>村用性・信</b> 2.1 耐 <u>加</u> 1	#持管理に配慮した設計	清掃員控室、清掃用具、清掃用流しの設置	3.0 5.0 2.9 3.0	0.50 0.50 0.30 0.50	-	-	2.9
2 耐	1 2 <b>村用性・信</b> 2.1 耐 <u>加</u> 1	#持管理に配慮した設計 #持管理用機能の確保 # <b>頼性</b>   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	清掃員控室、清掃用具、清掃用流しの設置	3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20	-	-	2.9
2 耐	1 2 1 1 2.1 耐烹 1 2 2.2 部品	#持管理に配慮した設計     #持管理用機能の確保     #頼性	清掃員控室、清掃用具、清掃用流しの設置	3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.2	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30	-	-	2.9
2 耐	1 2 1 1 2.1 耐烹 1 2 2.2 部品	#持管理に配慮した設計 #持管理用機能の確保 #持管理用機能の確保 #		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 3.2	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20	-	-	2.9
2 耐	1 2.1 耐泵 2.1 耐泵 2.2 部品 1 2	#持管理に配慮した設計  #持管理用機能の確保    「頼性		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20 0.20 0.10	-	-	2.9
2 耐	1 2 1 2.1 耐泵 2 2.2 部品 1 2 3 4	#持管理に配慮した設計     維持管理用機能の確保     種性     表・免震・制震・制振     耐震性(建物のこわれにくさ)     免震・制震・制振性能     お・部材の耐用年数     躯体材料の耐用年数     外壁仕上げ材の補修必要間隔     主要内装仕上げ材の更新必要間隔     空調換気ダクトの更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 5.0	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20	-	-	2.9
2 耐	1 2 2 前用性·信 2.1 耐泵 2.2 部品 1 2 2 3 4 4 5 6 6	#持管理に配慮した設計 #持管理用機能の確保 #持管理用機能の確保 #持管理用機能の確保 #表・免震・制震・制振   耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 5.0 3.0	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20	-	-	2.9
2 耐	1 2.1 耐窟 2.1 耐窟 2.2 部品 2.2 部品 2.3 4 5	維持管理に配慮した設計     維持管理用機能の確保     頼性     張・免震・制震・制振     耐震性(建物のこわれにくさ)     免震・制震・制振性能     ・部材の耐用年数     躯体材料の耐用年数     外壁仕上げ材の補修必要間隔     主要内装仕上げ材の更新必要間隔     空調換気ダクトの更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     主要設備機器の更新必要間隔     質性		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20		-	2.9
2 耐	1 2.1 耐窟 2.1 耐窟 2.2 部品 2.2 部品 2.4 信東 2.4 信東	#持管理に配慮した設計  #持管理用機能の確保    類性    一次では、   一次で		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 5.0 3.0 4.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - -	2.9
2 耐	1 2 2 前用性·信 2.1 耐震 2.2 部品 2.2 部品 2.4 信東 2.4 信東	#持管理に配慮した設計  #持管理用機能の確保  #技管理用機能の確保  #技管理用機能の確保  #表 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 5.0 3.0 4.0 2.2 1.0 2.0	0.50 0.50 0.30 0.80 0.20 0.30 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - -	2.9
2 耐	1 2 1 耐震 2 2 3 3 4 4 5 6 6 2 4 信乘 1 2 2 3 3 3 4 4 5 5 6 6 1 2 2 3 3 5 6 6 6 7 5 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6	#持管理に配慮した設計     維持管理用機能の確保     頼性     表・免震・制震・制振     耐震性(建物のこわれにくさ)     免震・制震・制振性能     お・部材の耐用年数     躯体材料の耐用年数     躯体材料の耐用年数     空調換気ダクトの更新必要間隔     空調換気ダクトの更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     主要設備機器の更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     空調・給排水配管の更新必要間隔     金額・換気設備		3.0 5.0 2.9 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 5.0 3.0 4.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5.0 5	0.50 0.50 0.30 0.50 0.80 0.20 0.30 0.20 0.20 0.10 0.10 0.20 0.20 0.20 0.20		- - - - - - - -	2.9

CASBEE熊本(新築) スコア

2							
3	対応性・更新性		3.4	0.30	-	-	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	階高:4.0m	5.0	0.60	3.0	-	
		壁長さ比率:0.23	4.0	0.40	3.0	_	
	- Zhon K dae	至及(20年, 0)20				_	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		_	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10			
						-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
$\bigcirc$ 3	室外環境(敷地内)		_	0.30	_	-	2.7
			-		<u> </u>		
	生物環境の保全と創出		2.0	0.30	•	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		_	
		緑化等による暑熱環境の緩和					
	012 334 B1 142 MC 14 35 1 1 1		4.0	0.50		-	
	建築物の環境負荷低減性			-		-	3.4
LR1	エネルギー		_	0.40	-	-	4.3
		[BEI][BEIm]=0.62	5.0	0.20	-	-	5.0
	と自然エネルギー利用		3.0	0.10			3.0
					-	-	
		[BEI][BEIm] = 0.62	4.8	0.50	•	-	4.8
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	•	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50		_	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	_		_	
LDC			V.V	0.00			2.7
	2 資源・マテリアル			0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	_	
			3.0	0.70			
	1 雨水利用システム導入の有無					-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減	<u> </u>	2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
		_					
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	_	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	
2	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	_	3.0
3			<u> </u>		_		3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2 <u>フロン・ハロンの回避</u>		3.0	0.70	•	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		_	
	3 冷媒		3.0	0.50			
, = -			3.0				0.4
	3 敷地外環境			0.30	-	-	3.1
	I.I. a h and and it	÷⊆ 1. /> 1 14 o 1/10 07/00 1/4 00 o 1/5 00					4.1
1	地球温暖化への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	4.1	0.33	-	-	
	地球温暖化への配慮 ! 地域環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	4.1 2.3	0.33	-	-	2.3
	地域環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3	0.33		-	2.3
	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0	0.33 0.25		- - -	2.3
	地域環境への配慮         2.1 大気汚染防止         2.2 温熱環境悪化の改善	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0	0.33 0.25 0.50		- - - -	2.3
	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2	0.33 0.25 0.50 0.25		- - - -	2.3
	地域環境への配慮         2.1 大気汚染防止         2.2 温熱環境悪化の改善	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0	0.33 0.25 0.50		- - - -	2.3
	地域環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2	0.33 0.25 0.50 0.25		- - - - -	2.3
	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25		- - - - -	2.3
	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制       3 交通負荷抑制	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	2.3
2	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制       3 交通負荷抑制       4 廃棄物処理負荷抑制	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	
2	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制       3 交通負荷抑制       4 廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		- - - - - - - -	3.1
2	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制       3 交通負荷抑制       4 廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮       3.1 騒音・振動・悪臭の防止	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - - - -	
2	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制       3 交通負荷抑制       4 廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		- - - - - - - -	
2	地域環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - - - -	
2	地域環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - - - -	
2	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制       3 交通負荷抑制       4 廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮       3.1 騒音・振動・悪臭の防止       1 騒音       2 振動       3 悪臭	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00		- - - - - - - -	
2	地域環境への配慮         2.1 大気汚染防止         2.2 温熱環境悪化の改善         2.3 地域インフラへの負荷抑制         1 雨水排水負荷低減         2 汚水処理負荷抑制         3 交通負荷抑制         4 廃棄物処理負荷抑制         B辺環境への配慮         3.1 騒音・振動・悪臭の防止         1 騒音         2 振動         3 悪臭         3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - - - - -	
2	地域環境への配慮       2.1 大気汚染防止       2.2 温熱環境悪化の改善       2.3 地域インフラへの負荷抑制       1 雨水排水負荷低減       2 汚水処理負荷抑制       3 交通負荷抑制       4 廃棄物処理負荷抑制       B辺環境への配慮       3.1 騒音・振動・悪臭の防止       1 騒音       2 振動       3 悪臭	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00		- - - - - - - - - -	
2	地域環境への配慮   2.1 大気汚染防止   2.2 温熱環境悪化の改善   2.3 地域インフラへの負荷抑制   1 雨水排水負荷低減   2 汚水処理負荷抑制   3 交通負荷抑制   4 廃棄物処理負荷抑制   4 廃棄物処理負荷抑制   5 周辺環境への配慮   3.1 騒音・振動・悪臭の防止   1 騒音   2 振動   3 悪臭   3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制   1 風害の抑制	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00 - 0.40		- - - - - - - - -	
2	地域環境への配慮         2.1 大気汚染防止         2.2 温熱環境悪化の改善         2.3 地域インフラへの負荷抑制         1 雨水排水負荷低減         2 汚水処理負荷抑制         3 交通負荷抑制         4 廃棄物処理負荷抑制         8 周辺環境への配慮         3.1 騒音・振動・悪臭の防止         1 騒音         2 振動         3 悪臭         3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制         1 風害の抑制         2 砂塵の抑制	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70		-	
2	地域環境への配慮	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.30		-	
2	地域環境への配慮		2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00 0.40 0.70 - 0.30 0.20		-	
2	地域環境への配慮         2.1 大気汚染防止         2.2 温熱環境悪化の改善         2.3 地域インフラへの負荷抑制         1 雨水排水負荷低減         2 汚水処理負荷抑制         3 交通負荷抑制         4 廃棄物処理負荷抑制         3 B音・振動・悪臭の防止         1 騒音         2 振動         3 悪臭         3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制         1 風害の抑制         2 砂塵の抑制         3 日照阻害の抑制         3 日照阻害の抑制         1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	高炉セメント杭の利用、LED照明機器の採用  光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告物照明の取り扱いの一	2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.30		-	
2	地域環境への配慮		2.3 3.0 2.0 2.2 3.0 3.0 2.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40 1.00 0.40 0.70 - 0.30 0.20		-	

CASBEE熊本(新築) 配慮事項

## 【八SBEE®熊本《新築》【配慮事項】 4 設計上の配慮事項 熊本駅の外観に合わせ、黒を基調とした。 できるだけ多くの植栽を配置。 Q1 室内環境 前面道路側を一面窓にし、自然採光が十分にとれるように配慮。 内装材は全て、F☆☆☆☆を採用。 Q2 サービス性能 居室天井高を2.8mとし、快適な空間となるよう計画。 Q3 室外環境(敷地内) 1階だけでなく4階にも植栽を設けた。 LR1 エネルギー 日照エネルギーを十分に確保できるように窓を広く計画。 省エネに考慮した照明機器を採用。 LR2 資源・マテリアル 水資源保護への配慮として、節水型便器を使用。 LR3 敷地外環境 荷捌き用駐車場を設け、交通渋滞の抑制を図った。 その他 特になし

Page: 5/6 Sheet: 3/5 CASBEE熊本(新築) スコア(重点項目)

### 熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 *熊本駅ビル(仮称)運営会社ビル* 

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

*	<mark>熊本県重点評</mark> (	<b>西結果</b>			<b>9/</b> / 中心	合評価点	81
重	点事項				₹## <b>#</b>	重点事項	≅∓ /≖ ∓⊤ JE
	重点項目(配原	<b>取項目)</b>	スコア	重み 係数	評価点	重み係数	評価配点
1	温室効果ガス	排出量削減の推進					
	Q1-2.1.2	外皮性能	5.0	0.05			
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
	Q1-3.2.1	昼光制御	4.0	0.05			
	LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15	94.7	0.40	37.88
	LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
	LR1-3	設備システムの高効率化	4.8	0.30			
	LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	2.0	0.10			
2	安全安心で暮	らしやすい社会の実現				0.20	
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25	67.5		
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			13.50
	Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15	07.5		13.30
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
3	県の地域資源	の有効活用と保全					
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
	LR2-1.1	節水	4.0	0.30	75	0.20	15.00
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
4	循環型社会の実現						
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
	Q2-3	対応性·更新性	3.4	0.30	72	0.20	14.40
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10	12	0.20	14.40
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
	LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

### ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20: スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

Page : 6/6 Sheet : 5/5